



【最優秀賞】
活汲農村公園（活汲中央自治会）



【優秀賞】
豊永会館（豊永第2婦人部）



【優秀賞】
柏町自治会（同）



【優秀賞】
共和寿クラブ（同）



【努力賞】
町道105号線神社前（津別神社）



【優良賞】幸町自治会（同）



【優良賞】布川会館（布川自治会）

「津別町花のまち推進協議会」では、花いっぱい運動を育成助長することで、うるおいのある美しいまちづくりに寄与しています。

その一環として8月20日、花壇コンクールの審査会が協議会役員によって開催されました。このコンクールは、今回で40回を数えます。

審査会の結果、活汲農村公園花壇が最優秀賞に選ばれたのはじめ、全11花壇中7花壇が入賞しました。なお表彰式は、11月に開催される予定です。

第4回「全国木のまちサミット」 2018 in つべつが開催されます

イランカラフテ
「こんにちは」からはじめよう
※イランカラフテは、アイヌ語のこんにちは。

10月11日(木)・12日(金) / 中央公民館

チミケツ湖

10月11日・12日の日程で、「全国木のまちサミット」が、津別町で開催されます。全国の木のまちが一堂に会し、国産材活用の促進と事例が発表されるサミットに、皆さんもぜひご来場ください。

山村の基幹産業が都市に潤いある生活を供給

わが国の森林資源、とりわけ木材（地域材）は充実しつつあります。これらを有効に活用することは、森林の多面的機能の持続・山村の基幹産業である林業・木材産業の成長、さらに都市に暮らす住民を含めた国民の潤いある生活の実現を図るうえでの課題となっております。

全国では、地方自治体など地域関係者の主導により、創意工夫を凝らしながら、公共建築物の木造化をはじめとする木材利用に積極的に取り組む広がりを見せています。

木のまち・津別の未来へのヒントを

本サミットでは、木材の利用に取り組みようとしている全国の市町村関係者が一堂に会し、地域材の利用促進のための課題とその解決策をともに考えるものです。

木材利用の促進と国産材自給率の向上を加速化するための足掛かりとするこのサミットに参

加し、木と共に発展してきたわが町の将来を共に考えていきたいと思います。町民のみならずの参加をお待ちしています。

※この事業は『北海道命名150年 北海道未来事業』に登録して開催されます。



《日程・スケジュール》

10月11日(木)

- 13時開会（12時開場）
- 13時30分 基調講演
林野庁木材利用課木造公共建築物促進班 課長補佐 宮脇 慈 氏
- 13時55分 記念講演
東京都市大学 特別教授 涌井 史郎（雅之）氏
（マスコミでもTBS「サンデーモーニング」等のコメンテーターとして活躍中）
演題：『多面的公益性「グリーンインフラ」としての機能を担う国産材、森林の明日を考える』
- 15時10分 課題別事例発表（予定）
 - ICTを用いた地域課題の解決に向けたアイデア創出の取組
 - 林業による地域振興推進におけるICTの利活用
 - 丸玉木材株式会社紹介
 - 東京都港区における木材活用の取組と課題について
- 17時10分 歓迎公演
アイヌ古式舞踊（阿寒アイヌ工芸協同組合）
- 18時 閉会



涌井史郎氏



アイヌ古式舞踊・鶴の舞

10月12日(金) 現地視察（町外者のみの参加）

会場
中央公民館1階 講堂

主催

第4回全国木のまちサミット

実行委員会（委員長 佐藤多二）

問い合わせ先

実行委員会事務局（町産業振興課林政・再生可能エネルギー推進グループ）

電話

76-2151（内線259）

※準備の都合がありますので、10月9日までに申し込みをお願いします（当日参加も可能です）。